

第1回 六甲山系有馬地域学習ゾーン検討委員会

議 事 要 旨

1. 開催日時：平成24年10月5日(金) 10:00～12:00
2. 開催場所：有馬地域福祉センター 2階会議室
3. 出席者：

【委員】

宮田 隆夫	神戸大名誉教授	構造地質学
香西 直樹	六甲山自然案内人の会 代表	自然 (六甲全体)
水野 浩典	神戸市立有馬小学校 校長 (神小研理科部参与)	自然 (郷土)
稲垣 健	神戸市立鹿の子台小学校 校長 (前指導課指導主事)	郷土史
藤井 清	有馬温泉郷土史研究家	郷土史
藤木 久幸	有馬川を美しくする会 会長	地域活動
神野 忠広	六甲砂防事務所事務所長	砂防・防災

【事務局】

六甲砂防事務所	綾木副所長、森東課長、杉浦係長、西山技術員
株式会社エイト日本技術開発	田中、吉川、松本、松島、嶋田

4. 配付資料

- 議事次第
- 第1回検討委員会資料 (資料①～⑦)
- 参考資料 「みんなで語り、伝えよう！夙川物語」「主な学習要素 (有馬川流域)」

5. 議 事

1. 事務所長あいさつ	・六甲砂防事務所 神野所長あいさつ
2. 委員紹介	・各委員、事務局による自己紹介 (資料①)
3. 委員会設立趣旨、規約 (委員長の選任)	・事務局による説明 (資料②)
4. 検討委員会での検討内容・スケジュール(案)	・事務局による説明 (資料③)
5. 有馬川流域の特性・主な学習要素について	・事務局による説明 (資料④、参考資料)
6. 学習ストーリー骨子と散策ルートのポイントについて	・事務局による説明 (資料⑤)
7. 事前説明・ヒアリングにおける意見概要等について	・事務局による説明 (資料⑥)
8. 意見交換	
9. 冊子における「わかりやすい表現」について	・事務局による説明 (資料⑦)
10. 閉会	・六甲砂防事務所 神野所長あいさつ

<冊子の内容・情報に関する意見概要>

主 な 意 見 の 概 要	
■断層について	<ul style="list-style-type: none">・「六甲山地の断層」の中で「六甲断層」と記載されているが、近畿の人には六甲断層と言えば北側の断層の認識があるものの、近畿外の人には六甲南側の断層と誤解されてしまうため、「有馬－高槻断層帯（西の部分を六甲断層という。）」で統一してはどうか。（宮田委員長）
■風化について	<ul style="list-style-type: none">・六甲山の風化について、場所によって風化の進行状況が異なる理由や、地質・地層の関係などの情報の提供を行ってほしい。（水野委員）
■有馬三山について	<ul style="list-style-type: none">・（利休荘から見た）有馬三山は「湯槽谷山」ではなく、「愛宕山」が入る。三山ではなく三笠という。（藤木委員）
■生き物希少植物について	<ul style="list-style-type: none">・生き物について、スミスネズミ、エゾゼミ、ヒメボタル、モリアオガエル、コベマイマイを追加してほしい。・植生における自然林について、有間神社のツブラジイ群落、六甲山山頂のブナ群落（共に神戸市のレッドデータAランク）を追加してほしい。（香西委員）
■有馬十二坊について	<ul style="list-style-type: none">・十二坊に関する情報は書物によって様々な内容があるが、有馬地誌を参考とするべきであろう。（藤井委員）
■阪神大水害について	<ul style="list-style-type: none">・阪神大水害に関する記述について、「太閤橋が原因」とあるが、「暗渠が原因」である。（藤木委員）
■土石流について	<ul style="list-style-type: none">・阪神・淡路大震災と六甲山」の中の記述について、「地震と復興の繰り返し」とあるが、「山津波」とする方がわかり易いのではないかと。（藤木委員）・「山津波」は「土石流」のことで書物にも書かれているが、最近の若い人にはわかりづらいかもしれない。また、同じ項目において「私たちの街は、かつて、土砂に埋まった」という表現があるが、全部が埋まったわけではないので、「一部が土砂に埋まった」としてはどうか。（藤井委員）
■砂防堰堤について	<ul style="list-style-type: none">・明治、大正の頃の砂防堰堤は南斜面にはみられないが、白水峡の辺りには昔の砂防堰堤が残っているため、資源として前面に出してはどうか。（神野委員）
■わかりやすい表現について	<ul style="list-style-type: none">・難しい表現の中で、「形成された」を「造られた」としているが、小学生には分かりづらいのではないかと。「かたちづくる」というような表現の方が良いのではないかと。（稲垣委員）

<その他、意見概要>

主 な 意 見 の 概 要

■散策ルートについて

- ・散策ルートについて、魚屋道と記載されているがこのように区間は短くない。住吉道と一緒にである。住吉道が改修されたのが明治の初めである。また魚屋道は通称であるため、住吉道で良いのではないか。(藤井委員)
- ・有馬温泉に宿泊された人は有馬温泉の中を散策するというケースが多いかと思う。それを考えと六甲山の上まで登らないと思うので、有馬温泉の中だけのルートを作ってはどうか。(宮田委員長)
- ・自然の散策ルートについて、西宮市山口の周辺の河岸段丘のズレなど地形や断層の特徴的なものを紹介してはどうか。(宮田委員長)